

## 三菱自動車、新型商用車『ヴァーサ バン』をフィリピンで発売

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、フィリピンにおいて、日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、代表執行役社長兼最高経営責任者：イヴァン エスピノーサ、以下日産）から OEM 供給を受ける新型商用車『ヴァーサ バン』を 2 月 6 日（金）から販売開始します。



新型『ヴァーサ バン』

新型『ヴァーサ バン』は、5 列シート・最大 15 人乗りで人員輸送に適したゆとりある室内空間を実現し、送迎バスを含む幅広い商用利用を想定しています。2.5L 直列 4 気筒ディーゼルエンジンを搭載し、発進直後から力強いトルクを引き出し、多人数乗車時や登坂路においても余裕のある走行性能を実現します。本モデルの導入により、当社のフィリピンにおける商用車ラインアップを拡充し、既存モデル『L300』とあわせてお客さまのニーズに応えていきます。

アライアンスパートナーである日産とは、グローバルにおいて次世代ピックアップの共同開発や生産、電動車協業・事業拡大などの検討を進めています。その一環として、今回のフィリピンにおける『ヴァーサ バン』の日産からの OEM 供給が実現しました。当社は、日産の北米向け『ローグ プラグインハイブリッド』やオセアニア向け『ナバラ』の供給を直近で開始しているほか、フィリピン市場では 2022 年より『リヴィナ』を供給しており、商品補完と地域事業の強化に向けた協業を着実に進めています。これらの取り組みにより、日産、当社ともに工場稼働率を向上し、モデルラインアップを補完するなど、双方にとって意義のある関係を構築します。また、当社は日産より新型『リーフ』派生の電気自動車の OEM 供給を受け、2026 年後半に北米市場へ投入します。

三菱自動車は今後もさまざまなパートナーシップを通じ、商品ラインアップの拡充、各地域事業の強化及び収益化に向け、順次取り組みを加速していきます。

以上